

令和4年度 市町村災害廃棄物処理計画 策定支援事業業務

報 告 書 概 要 版

令和5年3月

環境省北海道地方環境事務所

請負：アジア航測株式会社

業務目的

- 全国で大規模な地震、豪雨・台風災害が発生しており、道内でも、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による大規模な津波被害が想定されている。
 - 災害廃棄物処理計画の策定や発災時の対応を事前に定めておくことが重要である。
- 道内市町村の処理計画策定率は24.6%であり全国平均(約72%)に対して著しく低い
 - 未策定の自治体に処理計画の重要性を認知させるとともに、処理計画策定に必要な基礎知識を習得させる。
 - 計画策定の意思がある市町村を強力にバックアップし、道内の処理計画策定率を向上させる。

業務内容

【業務内容】

- ① 勉強会の開催
4か所で各1回
- ② 災害廃棄物処理計画骨子案の作成支援
支援を希望する自治体に対し実施
- ③ 留意事項
研修会等の日程・会場の調整、新型コロナウイルスの感染対策、リモート参加の体制整備
- ④ 業務報告書の作成
業務の概要、過程、結果等の取りまとめ

① 勉強会の開催

○開催日程

全道の自治体担当者を対象に、災害廃棄物処理計画の有効性についての講義、災害廃棄物処理に携わった方による講演、及び初動に関する図上演習に関する勉強会を、紋別市、浜頓別町、羽幌町、倶知安町でそれぞれ1回、合計4回開催した。

	開催日時	開催場所	参加者
1	令和4年10月7日 10:00～16:00	紋別市立博物館 郷土学習室	紋別市、遠軽町、遠軽町、滝上町、興部町(5市町村) オホーツク総合振興局
2	令和4年10月24日 10:00～16:00	浜頓別交流館 多目的ルーム	浜頓別町(1市町村)
3	令和4年10月26日 10:00～16:00	羽幌町中央公民館 第1研修室	豊頃町、様似町、平取町、小平町、天塩町、苫前町、 留萌市(7市町村) 羽幌町外2町村衛生施設組合(1組合) 留萌振興局
4	令和4年10月28日 10:00～16:00	倶知安町中小企業セ ンター 研修室	黒松内町、蘭越町、倶知安町、積丹町、仁木町、 余市町、真狩村、京極町、留寿都村、赤井川村、 寿都町、浜頓別町、利尻町、利尻富士町、釧路町、 釧路市、岩見沢市(17市町村) 利尻郡清掃施設組合(1組合)

① 勉強会の開催

○開催概要

災害廃棄物処理に係る経験を有する講師による講演では、平成23年に発災した東日本大震災や紀伊半島豪雨で発災時に、陸上自衛隊大久保駐屯地(京都府宇治市)第7施設群長として災害廃棄物処理に従事されていた奈良県庁参事の米津浩幸氏を講師とし、当時の被災状況、災害廃棄物処理に係る業務について、羽幌町での開催では講演、質疑、ディスカッションを行い、紋別市、浜頓別町、倶知安町での開催では、事前に取材した動画を放映した。



主な内容	詳細
災害廃棄物処理計画の有効性についての講義	災害廃棄物処理計画とは 近年の災害の特徴 災害廃棄物処理計画策定の目的 ワークシートについて
災害廃棄物処理に従事された方によるご講演 <講師:米津浩幸氏>	発災直後から現場へ行かれるまでの経緯 担当地域の自治体担当者との連絡体制等について 災害廃棄物処理のご様子 ボランティアの方々との協働について 質疑、ディスカッション
初動に関する図上演習	話題提供(仮置場について) 演習1:【テーマ1】災害廃棄物発生量、仮置場面積の概算 演習2:【テーマ2】一次仮置場の選定 意見交換会:【テーマ3】仮置場設置のために平時に準備する事項

① 勉強会の開催

○演習(意見交換会)

演習は、班分け後、各班にファシリテーターを1名配置することで円滑に意見交換ができるようにした。参加者から出された仮置場設置のための平時の準備についての主な意見と、そこから抽出された処理計画に記載すべき事項を以下に示す。

仮置場設置のための平時の準備についての 主な意見		主な意見から抽出した 処理計画に記載すべき事項
仮置場の選定	仮置場の優先順位付け	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場のリスト ・仮置場の詳細 ・仮置場への搬入排出経路 ・他部署との連携体制の構築 ・災害廃棄物発生量の概算 ・仮置場のレイアウト ・住民への周知方法 ・資材、機材の設置方法
	搬出経路の確認・確保	
	仮置場設置個所との協定の締結	
	公有地・民地の確認	
	防災部門とのすり合わせ	
仮置場開設	土壌・面積・状況の調査	
	搬入方法等の確認	
	資材・機材の確保	
	人員配置の確認	
	住民への周知	
仮置場の運営	レイアウトの検討	
	運営人員の確保	
	他部署との連携	
	重機・資材の確保	
	交通整理	
	ゴミ分別看板の設置	
ごみ収集業者との協議		

② 災害廃棄物処理計画骨子案の作成支援

○疑義照会での支援

骨子(案)策定の支援として、自治体からの相談を電子メール等により随時受け付け、常時疑義照会を行う体制を整備した。また、現地等での確認が必要な自治体に対しては、自治体へ訪問し対面による支援を行った。

相談対応件数

振興局エリア	相談対応
後志	1自治体
宗谷	2自治体
計	3自治体

対面支援した自治体

振興局エリア	対面による支援
空知	滝川市※、由仁町
上川	名寄市、南富良野町
十勝	帯広市、更別村、浦幌町
釧路	釧路市
留萌	留萌市
計	9自治体

※滝川市は2回にわたり対面による支援を実施。

② 災害廃棄物処理計画骨子案の作成支援

○Push型支援

多忙等を理由にワークシートの作成が困難な自治体については要望に応じ、記載内容を請負者側から提示するなどいわゆるPush型による骨子(案)作成支援を行った。

Push型支援件数

振興局エリア	Push型支援
後志	2自治体
留萌	2自治体
宗谷	2自治体
オホーツク	1自治体
計	7自治体

なお、相談対応、Push型支援を行った自治体を含め、50自治体程度の処理計画骨子案を作成した。

③ 留意事項

○会場の選定

勉強会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染防止対策を含め、十分なソーシャルディスタンスが確保できる、参加予定者の倍の人数を収容可能な会場を確保した。

○運営

新型コロナウイルス感染防止対策として、出席者同士の間隔を十分開けるように椅子机等を配置するとともに、換気、マイクカバーの使用、意見交換会時のフェイスシールド着用などの配慮を行った。右図のパワーポイントを作成し、開会前、休憩時間中に掲示した。



○リモート開催

勉強会への対面参加が困難な自治体に対し、リモート開通試験や操作方法を説明した。また、希望する参加者にリモート用の機器を貸し出した。



貸し出し用機材

④ 業務報告書の作成

○報告書の作成

以下の成果品を作成し、関係機関256箇所へ送付した。

- ✓ 報告書 100頁程度、265部(A4版)
- ✓ 報告書 概要版(Microsoft社PowerPoint)10頁程度、265部(A4版)
- ✓ 報告書 要約版(Microsoft社PowerPoint)12頁程度、265部(A4版)
- ✓ 報告書及び概要版の電子データを収納した電子媒体(DVD-R)8式

○ブロック協議会

ブロック協議会において、本事業の実施結果を報告した。

日時 : 令和5年2月22日 10:00～12:00

場所 : 北海道中小企業会館(オンライン併用 Microsoft Teams)